

三加和中 里山だより

和水町立
三加和中学校
(和水町板橋
1001)
文責：益崎

「十五の春」を見据える秋に！

将来の生き方を考える季節です

夢を持ち、計画を練り、一歩を踏み出そう

一年間のうちで最も充実する季節を迎えます。十月は演劇、合唱コンクールなど、学校での学習の成果を発表する、後期最大の行事である文化発表会や、写生大会が計画されるなど、さまざまな行事が予定されています。これらの行事を通して子どもたちは大きく成長していきます。

ところで、日々の成長の延長線上には、いったい子どもたちのどんな姿があるのでしょうか。保護者の皆さんは、子どもたちの未来を想像しながら、大きな期待とともに



真剣に授業に取り組む3年生

少なからぬ不安な気持ちも入り混じっていることだと思えます。

中学校卒業の時期を「十五の春」と呼びます。多くの子どもたちが自分の人生で初めて立つ分岐点、人生の中で最も期待に満ちあふれた輝かしい「十五の春」を、実り多きものにするためには、夢を持ち、計画を練って、一歩目を踏み出すことです。当たり前のごとですが、一歩目を踏み出さないことにはその先はありません。

この充実の秋に、子どもたちの未来について親子で話題にしてほしいと考えています。そのうえで子どもたちに、今一番力を入れて取り組むべき事は何かを、保護者の方からもアドバイスいただき

九月二十一日、一年生を対象に「性に関する指導」を実施しました。今回のテーマは生命誕生でした。思春期に入り、心も体も一段と成長していく中で、受け継がれていく命について知るとともに、命の大切さを自

生命誕生



覚し、自分や他の人の命を大切にできる人になってほしいとの思いで計画された授業でした。

授業の中では、妊婦ジャケットを着用することで、妊娠中のお母さんの大変さを体験してみたり、赤ちゃん

人形を使って、赤ちゃんの重さを実感したり抱き方を体験したりしました。

当日は、三週間後に出産を控えた妊婦さんに来校していただき、妊娠中に周囲の人たちの優しさを感じたことや、生まれ来る赤ちゃんへの思いなどについてお話ししていただきました。



去る九月六、七日の二日間、二年生で、職場体験学習に取り組みました。校区内外の多くの事業所のご協力をいただき、貴重な体験をさせていただきました。

生徒たちは実習当日だけでなく、事前打ち合わせ



生徒たちは実習当日だけでなく、事前打ち合わせ

ふるさとの風景を描く



本日10月3日、校内写生大会を実施しました。最近では実施していない学校もあるのですが、秋の一日ふるさとの自然に浸り、その風景を見つめることは豊かな情操をはぐくむ上での、貴重な体験学習でもあります。

ホンモノの学び／職場体験学習

き、将来に向けての一歩目を踏み出すことができよう、ご支援よろしくお願ひします。

九月は前期期末テスト、三年生では第一回共通テストも行われました。テストの心構えとして、1点の重みを大切にすることが生徒に伝えられています。入試などの試験では、合格と不合格を分けるのはたった1点の差です。「1点を笑う者は1点に泣く」と言います。1点でも多くとるために、日頃から学習することは当然ですが、まずテストの時間中に精一杯取り組むこと、そして最後のチャイムまで考え、できるだけ空欄をつくらないようにはしようという指導をしています。



ますので、ぜひご覧ください。

この取組を通して生徒たちには、自分自身の適性を知る機会として、また将来の職業について考えるきっかけになったと考えています。

お世話になりました各事業所の皆様には、大変ご迷惑をおかけしたものと申します。心より感謝申し上げます。